



目標は、先輩を越えること 目指せ全国大会出場

西当別中学校ソフトボール部

前主将 大島愛美^{まなみ}さん 顧問 渡辺真樹^{まさき}先生



同校は、毎年全国大会出場を争う強豪校です。伊達市で開催された全道大会では、準決勝で大島中学校（松前町）と対戦し、延長戦の末、2対3で惜しくも敗れ全国大会を逃しましたが、来期に向けて元気にボールを追っています。

ソフトボールを始めたきっかけは？

ソフトボールをやってみようと思ったきっかけは、新入生対象の部活紹介で先輩たちの姿を見て自分もやってみたいと思ったからです。

最初は、ほとんどの選手が初心者で、ルールもわからなく、キャッチボールもできないような状態でしたが、1年、2年と基本練習を重ねるにつれ、ルールも覚え、次第にプレーも上達していきました。

試合では、チームワークが大切です。お互いに声を出して連携する必要がありますので、日頃の練習からしっかり声を出すように心掛けています。

このチームは、ほかのチームに比べて体が小さい選手が多いのですが、練習量では、どこの学校にも負けません。

今年の中体連では力を出し切れましたか

全道大会では、強豪校が揃っているので、チャレンジする気持ちで戦い、是非、全国大会に出場したかったのですが、結果は準決勝で敗退し3位でした。

このチームで試合をすることが最後だと思うと、もっと試合をしたいと感じましたが、チーム一丸となり頑張った結果なので悔いはありません。

全国大会出場の夢は、後輩が受け

継いでくれると信じています。

たくさんの方々に支えられているんですね。

毎試合、多くの人から大きな応援の声を頂き、選手として心強く感じていました。父母が試合のあとにジーンズカンをしてくれたことも、とても嬉しい思い出です。

地域の方々には、コーチやサポーターとしてチームを盛り上げていただいています。森本さん（獅子内）のご好意で冬季間はピニールハウスを借りて実戦練習をすることができます。地域の方や父母、学校関係の方の支えがあり、ソフトボール部が活躍できることに感謝しています。（顧問 渡辺先生）

人の動き 8月1日現在 ()は前月との比較

人口	19,739 人	(15人減)
世帯	7,785 世帯	(2世帯増)
男	9,652 人	(5人減)
女	10,087 人	(10人減)



今月の表紙

8月22日に蕨岱小学校の校庭にあるシロヤナギが当別町の「大きな木」に認定された時の1コマです。

あいにくの曇り空でしたが、児童たちが大きな木の下で元気一杯の笑顔を見せてくれました。